

2019年12月8日実施 一級設計製図の試験 講評

本日、一級建築士設計製図再試験を受験された皆様、
課題発表後、4カ月にも渡る長い間の受験勉強、
さらに本日の再試験、本当にお疲れ様でした。
さっそく第一報のプランをご確認ください。
事務室が過小ですが。

講評としては、初見では、10/13の本試験とほとんど変わらないように見えつつ、
実際に解いてみると、まったく違う難しさがある試験となりました。

難しさの要因としては、次の内容が挙げられます。

1. 屋上庭園の設置階が2階であること。
したがって、多目的ホールの上には計画できません。
2. 多目的ホールの設置階は、記述(1)のとおり、講演等において、多目的ホールを多くの者が
利用する場合があることを踏まえると1階が想定されますが、
屋上庭園を避けて計画しなければなりませんので、
上記プランでは多目的ホールは北側に計画しています。
3. アトリエ関連諸室は、屋上庭園との関係で2階と決まりますが、
多目的ホールを1階に設けたときは、
アトリエ関連諸室を2階にすべて計画するのが面積的に厳しいと思います。
また、展示関連諸室が1階と3階に分かれていいのかという迷いも生じやすいところですが、
必然的にそうになってしまいます。
4. 駐車場等を設けるために、東西3スパンの計画が想定されますが、南北に細長い計画は難し
くなりやすいといえます。
5. 本館との関係から、メインアプローチは北東が想定されるため、管理諸室が南東になるのも
計画が難しくなる要因です。
6. 10/13の本試験と同様、8mスパンなどを活用したスパン調整や、PC上部の諸室の計画な
ども活用しないとまとまりにくい課題であったと言えます。

以上、簡単な講評ですが、第一報とします。
皆様、本当にお疲れさまでした。